

ひきこもり サポーター 養成研修

令和
5年度



「ひきこもり」についての理解を深め、より身近な地域で
“ひきこもりに悩む本人や家族”を早期に発見し適切な支援につなぐための研修です

スケジュール

1日目

「香川県におけるひきこもり支援の現状やサポーター活動について」

香川県障害福祉課
香川県ひきこもり地域支援センター「アンダンテ」
高松市健康づくり推進課

「ひきこもりの基礎知識」

PSIカウンセリングルーム代表 竹内 佑一

「8050問題の社会的背景と当事者理解」

大手前大学現代社会学部 現代社会学科 准教授 伊藤 康貴

2日目

「ひきこもりの支援について」

PSIカウンセリングルーム代表 竹内 佑一

「総社市ひきこもり支援センター「ワンタッチ」の仕組み」

社会福祉法人総社市社会福祉協議会 ひきこもり支援センター「ワンタッチ」山口 光

「当事者の声から考えた支援アプローチ」

一般社団法人ひきこもりUX会議 共同代表理事 恩田夏絵

研修概要

日程

9月30日,10月1日(土,日)
10:00~16:30
(09:30開場、12:00~13:00休憩)

会場

高松市仏生山交流センター 会議室11
(ふらっと仏生山)
〒761-8078 香川県高松市仏生山町甲218番地1

対象

・ひきこもり支援に関心のある方
・両日参加可能な方

人数

定員 50名
※定員になり次第締め切らせて頂きます。

受講料

無料

問い合わせ

・087-802-2878(電話)
・hikisapo@hitotoco.or.jp(メール)

お申し込み

下記QRコードよりお申し込みください。



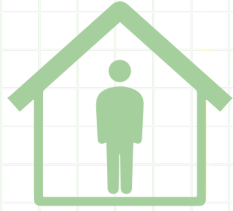
申込締め切り

2023年9月24日(日)

ひきこもりは「他人事」じゃない!?

▶「ひきこもりの状態」とは?

ひきこもりとは、家族以外の人との交流がほとんどなく、6ヶ月以上続けて自宅にこもっている状態のことを指します。また、1人でコンビニや映画鑑賞へ出かけることができて、家族以外の他人との交流がなければひきこもりと判断されます。近年では当事者の高齢化が懸念されており、深刻な社会問題になりつつあります。



ひきこもりサポートの現状

▶ひきこもりの人数は?

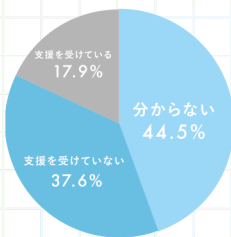
内閣府の調査によるとひきこもりの人数は、

約100万人以上

▶香川県のひきこもりサポーターの人数は?

県内のひきこもりサポーター登録者は**65人**。(2023/03)
ひきこもり当事者や家族、専門職、学生など幅広い層の方が登録しています。

香川県のひきこもり状況



▶支援を受けているのは2割未満

「支援を受けている」人は17.9%しかおらず、6人に1人しか支援が行き届いていないのが現状です。実際10年以上ひきこもっている人が、全体の3割を占めているというデータもあり、この問題を解決することがいかに難しいかを物語っています。

▶わからない点が多い

実際に活動している民生委員・児童委員でも、まだまだ不明な部分が多いのが現状です。香川県の引きこもりに関する実態調査(2018年度)によると、ひきこもっている期間は「わからない」が26.9%と最も多く、次いで「10年～15年未満」が9.4%「20年～25年未満」が8.4%でした。

引きこもりになったきっかけは「わからない」が41.0%と最も多く、次いで「人間関係がうまくいかなかった」が17.9%「職場になじめなかった」が15.4%となっています。

ひきこもりサポーターの活動状況(2022年度)

ひきこもりサポーター向け研修会



講師をお呼びしてのフォローアップ研修会を定期的を実施しています。昨年度は就労支援や心理的理解、居場所の運営、周知広報など多くの方に適切な支援が届けられるよう研修会を行いました。

サポートMAPの作成



研修会のグループワークで話し合った内容を元に県内の相談窓口や居場所についての情報をまとめたものを作成しました。

当事者・経験者・家族による発表



不登校やひきこもり経験のあるひきこもりサポーターにご登壇いただき、経験談や当時の気持ちなどをお話いただきました。

家族向け・当事者向け イベント企画・運営



ひきこもり当事者・経験者、家族、支援者向けのイベント企画・準備・運営を行いました。イベントには100名以上の方にご参加いただくことができました。